和　吉町目　和久井屋　電四〇五番

是非必要な夏の家庭用品

夏屏風　スダレ　煙草盆　食卓覆　團扇　蚊帳　釣手差　ハチ　ハエ　ハタキ　コツブ　ツヤ　フキ　ハタ　ホウキ　水菓子入臺

御散歩カテラ御越下さい……

東京行進曲

目下……
帝都流行の
ジャズソング
波浮の港の歌手
佐藤千夜子嬢が
心地良き
管絃團伴奏で
ビクターレコードに

蓄音器・貴金屬
會田時計店
平町四（電三六三）

今は藤の方
病棟千駄刈電話

体温器
正確ナ
衆曙計
関内藥局
電四〇番

理想的耐水耐熱接合劑
キングパスト
◎水か微温湯で溶せばすぐ使へる簡單な膠着劑
一名コナニカワ
◎四季を通じ一度ついたら膠着力は絶對的です
◎理想的完全耐水耐熱の可驚威力を發揮し防腐の効果著し
小野屋藥店
電話一四四番

内科、小兒科、花柳病科
藤沼醫院
入院需應
平町紺屋町
電話（平五〇七）番

藥舗並食堂開業
田町三六（從來の藥局跡）
宇佐美藥舗
右同所
田町食堂
（鮮魚仕出し）
三丁目郵便局前
移轉
宇佐美藥局
御愛顧願上ます
無代進呈（傳染病豫防の爲）
日本一のガマ印蟲取紙一人二枚宛呈上

◆開業披露◆
齒科
口腔外科
齒科一般
平町古鍛冶町八十八
神谷齒科醫院
日本齒科醫學士　神谷辰夫

中元御贈答には
ヤマフルの商品券が一番
醤油味噌
たひら正宗
鰹節食料品
鹽屋
山崎合名會社
福島縣平町
電話（營業部一〇番　醸造工場二七番）

學生夏服
1・2年用……85錢
2・3年用……95錢
3・4年用……105錢
4・5年用……115錢
5・6年用……125錢
高等科用……160錢
中學生用……240錢
各種子供服　夏帽子
ネクタイワイシャツ取揃
五丁目　電話三五三
平駅前

耳鼻咽喉科專門
場所（舊診療所裏通り）
合津醫院
平町仲田町（電話五五九）

營業種目
石炭　コークス　玉炭
磐城第一ノ石炭トシテ自他共ニ推稱スル
◎磐城炭礦ノ最上石炭
一、正味十貫目入　壹俵　金六十五錢
◎日本デー番評番ノ良イ東京瓦斯コークス
一、コークス　壹俵　金壹圓三十錢
◎木炭ノ三倍御德用ナ丸通ノ玉炭
一、玉炭　大箱壹箱　金貳圓
配達ハ一俵ヨリイタシマス
電話一一三七番
平驛前
阿部石炭商店

常磐毎日新聞
七月十七日夕刊
定價　一部金貳錢　一ケ月壹圓　郵税五厘　廣告　五號活字一行十二字詰　一行一日　休刊日　日曜大祭日　税日ノ翌日　料五十錢
福島縣石城郡平町長橋町三五　發行所　常磐毎日新聞社　電話六三〇番
發行兼編輯人　川崎文治
印刷人　本社ト同番地（電話六三〇番）　印刷所　常磐毎日印刷所

寄書

藝術始源に關する一考察（六）

吉田九郎

酒池肉林の歡を盡くすものとしての封建的支配者『その衣の上に最も多くの寶玉を鏤るもの』として、封建的支配者、彼等の廣大なる權力は、直ちに當時の民衆の頭腦によつて飜譯せられて、一方には唯一絶對神の觀念を形成し藝術の領域に於ては極度に權威的な、量的に偉大なる作品を出現せしむるに至つたのである。此の量的偉大さに關聯してその必然的結果として、當時の藝術の非個人的な全民衆的な特徴が擧げられるのである。

當代の文學の代表的なるものとして、ホメロスの作と傳へられる二大叙事詩を擧げ得る、その波濤の重疊するが如き、崇高なるリズムとその量的偉大、さと及び少くとも一世紀以上に亘る長年月間の多數人の合作になれる點とから見て、此の時代の藝術の全特徴を示すものと見らるべきであらう。此の時代に至つても、藝術が藝術それ自身のために存する――いはゆる藝術至上主義の名でもつてよばるゝ所の――等と云ふ思想は未だ起らなかつた。哲學や科學が宗教の侍女に過ぎなかつた。元來封建支配者なるものは此の時代の初期、即ち所謂族長時代の氏族から出たものである。

一册の代金で御希望通りの五册の雜誌が自由に讀める
川崎巡回文庫
電話六三〇番
（申込次第規則書進呈）

本月末迄は見當がつかない

小名濱修築打切り問題で 仙臺土木監督所長談

本縣小名濱商港修築打切り問題について坂本仙台土木出張所長は語る

過般小名濱に行つて調査して來たが新事業は手控へて居れとの本省の命令で調査も既に完了し何時でも着工出來るやうになつてゐるが何とも致し方ない譯だ本月末迄には本省より實行豫算が通達されやうから其の時になつて見れば本當に中止されたのか繰延べされたのか本年度から多少でも又は豫定通りに着工するのか見當がつかぬ

軍艦五十鈴

寄港地變更

宮城縣鹽釜に

軍艦五十鈴は廿一日小名濱を出港し宮城縣女川に寄港すべき豫定の處同地に傳染病發生せる爲め鹽釜に變更されたは是れが爲め入港時刻午後五時であつたのが午後三時半となる由

小濱大敷網

阻止運動

小柳知事に陳情 江名小名兩組合

石城郡植田町小濱魚業組合申請の大敷網は縣において調査完了し小柳知事の決裁を經るまでに進んでゐるが江名、小名の兩漁業組合では小濱沖合に大敷網を張られては餌鰯が漁獲不可能となる兩組合の鰹漁に大支障を來すといふのでかねて許可反對の運動中であつたが小柳知事の新任と共に運動を更新し兩組合代表は今明日中に來縣陳情すると

木村代議士の

送別會開く

谷口樓にて

石城郡選出政友會代議士木村清治氏は既記の如く萬國商事會議に出席することゝなり八月一日出發するので有志發起で來る二十五日ころ平町谷口樓で送別會を開催すると

平商校に

衛生展開催

保險署主催で

福島縣保險署主催で來る八月二十三日より三日間平商業學校内に衛生展覽會を開催する筈

無届移動地

炭礦地帶や都會地で調査

平稅務署の無届移動地届出は一萬二千餘筆で近く調査をなすはずだが炭礦地帶や都會地にはなほ多數の無届があるらしいので來る二十日署員が總出動し平町の合同地押調査をなして調査方針を確立し引續き磐崎内郷、小名濱、四倉、湯本等の炭礦地帶と都會地の地押調査で未届出地の發見に努めることになつた

氷屋の紛糾

仲賣の權利金を會社に要求

平町平製氷會社では平町田町齊藤敏實氏外六名の專屬氷仲賣人があり小賣相場一貫目現在二十錢を會社卸相場七錢で配給して居るが昨今の不況に當面し會社では仲買人全部を廢して今夏より會社が需用家に直賣する場になるので七名の仲賣人等は書入時に當つて生活の脅威であるとて狼狽し同會社に對し再三交渉したが應せぬ爲め結局右七名は仲賣の權利金五百圓乃至三百五十圓を會社に要求して居る等目下紛糾を重ねてゐる

家庭欄

胡瓜の肉づめ

なるべく大きな胡瓜を選び皮をむき、種をとり拔いて薄鹽をあてゝおきます、別に挽肉に玉葱と生姜のきざんだのを少々まぜ合せ鹽、胡椒で味をつけ、バタでいためます、肉が冷いてから胡瓜の孔へかたく詰め輪切にして皿へ盛りソースをかけていたゞきます、なほ溫かいのをお好みになる方はさめぬうちに肉をつめ更にバタで胡瓜をいためます。

◇南瓜の千成秘訣　これは極めて簡單です、かぼちや苗が六尺位に成長したらば、その根本より八寸位の個所に錆釘を二三本さしておけば驚く程早く實がつきます、又鐵屑を肥料にしても好いやうです

◇　◇

明日の天氣豫報

晴れたり曇つたり

甥の土地を種

惡玉の叔父

叔父も脅喝さる

石城郡上遠野村大字上遠野村の齊藤福松(五〇)は甥に當る同村豪農齊藤作久間(五〇)の財産整理方を委任されたと稱し本年六月三十日同村の赤根丑太郎(五)に佐久間所有の田畑五反歩を賣却する契約をなし手付金二百圓を受け取つた儘その後何等の音沙汰もないので丑太郎が怪しみ調て見ると眞赤な嘘と判り丑太郎は福松方を訪れ右の事体を公開すると脅喝し百圓の强要受領して立ちさつた事實を植田署で知り十六日引致丑太郎は脅喝福松は横領犯として目下取調を受けてゐる

果實の講習

實地に就いて

石城郡農會主催郡下中堅農民講習會は廿六日午前十時から平窪村果樹園に於て實地講習會を開く

貨物主任打合

常磐線平高萩驛間並に磐越東線平、小川郷驛間における各驛貨物主任打合せ會は去る十五日木の香新しい平驛樓上で開催したが水戸運輸事務所から鈴木營業主任出席した

兎の耳

顔の造作代五萬圓

米國のオペラ界でコントラルト中音部の名手エンマミロヴイツチ夫人は最近自動車に衝突して美しい顔を臺無しにされたので先方の人自動車の持主を相手取つて金五萬圓の損害倍償訴訟を提起した

その内譯は負傷個所を九針縫つたがそれがヒドク痛かつたからその慰しや料が二萬圓、それから彼女の商賣から單に聲を開かすればよいといふワケにゆかず容姿の美も人氣を得る最大條件だからそれが毀損された倍償金三萬圓で合計五萬圓といふことになるのである

暑中の郵便

集配を減便

二十日から

平郵便局に於ては現業傭人優遇の一端として前年の例に倣へ暑中に於ける集配手の服務輕減を計る爲七月二十日より九月十日迄市内配達二號便市外集配二號便(好間村及神谷村の一部實施のもの)何れも午後零時三十分出發のものを減便し尚市内小包配達便(從來午後三時三〇分出發のもの)を午前八時に早發し日中における集配難の緩和を計る外午後七時出發の市内取集便を午後八時に變更した之れが爲今迄午後七時迄に投函したるものでなければ上り及びトりの急行列車に結束しないものが上下急行に結束する事となつたと

濱三郡少年

野球大會

廿八日に開催

いはらき平支局主催濱三郡少年野球大會は廿八日午前九時から磐中グラウンドにおいて開催されるが各校秘密裡に猛練習を重ね本年度の優勝旗は果して何れの校に落つるが全く豫想をゆるさぬ有樣だけ興味津々たるものがある

見學の後に

体育會豫選

白銀の試み

平町白銀町青年團にては明十八日午前六時五十九分平驛發にて小名濱に至り水産會社、捕鯨工場、水産試驗場を見學して軍艦五十鈴を觀覽し午後一時から海岸に於て町民体育大會の豫選を行ふと

五十鈴艦副長

小松侯歡迎

平町有志が

五十鈴艦副長侯爵小松輝久氏故北白川宮王子は父君輪王寺宮の御偉蹟を訪れんが爲め十八日來平高月台の飯野氏邸を訪はるゝを好機とし平町有志は同日午後七時より谷口樓に於て歡迎晩餐會を催す由

ユラノスケ粕取燒酎發賣

二合白瓶　貳拾五錢

(空瓶交換仕候)

平町四丁目平驛通り

永山酒造店小賣部

電話二〇七番